KS ボーリング柱状図

作成支援ツール

Ver.1.2

スタートアップマニュアル

共創ソフトウェア株式会社

1. 概要		1-1
2. 製品の)導入	2-1
2-1. 動]作環境	2-2
2-2. 製	と品のダウンロード	2-2
2-3. 製	と品のインストール	2-3
2-3-1	1. 製品のインストール	2-3
2-3-2	2. Microsoft Visual C++ 2008 再頒布可能パッケージのインストール.	2-6
2-4. 製	!品の試用をする	2-8
2-5. 製	品登録手続き	2-9
2-6. ア	ウティベーション	
2-7. 製	品登録の解除	2-13
3. 各プロ	グラムの紹介	
3-1. 柱	::状図データ編集(KsBedEditor.exe)	3-1
3-2. ボ	デーリング管理(KsBedMan.exe)	3-1
3-3. 柱	:状図表示・印刷(KsLogViewer.exe)	3-2
3-4. 電	子簡略柱状図(KsSBorLogEditor.exe)	3-3
3-5. コン	ア写真管理(KsCoreMan.exe)	3-4
3-6. 水	:位観測図(KsGWLogEditor.exe)	3-5
3-7. 数	t量計算ツール(KsBedAccumulater.exe)	3-6
3-8. 共	:有管理(KsShareMan.exe)	3-7
3-9. 柱	狀図ハッチエディター(KsHachEditor.exe)	3-7
4. 共通操	峰作	
4-1. シ	~-ト上の操作	4-1
5. こんな間	時には	5-1

1. 概要

このたびは「ボーリング柱状図作成支援」ソフトウェア(以下本ソフトウェアと表記します)利用いただき、ありがとうございます。

なお、本マニュアル中の製品名、名称には他社の登録商標または商標が含まれております。

本マニュアルは、以下の範囲を取り扱っております。本ソフトウェアに含まれる各プログラムの使 用方法については、それぞれのマニュアルをご覧ください。

- 製品の導入方法
- ・ 本ソフトウェアに含まれる各プログラムの紹介
- ・ 本ソフトウェアで用いる用語
- ・ プログラムに共通した操作方法
- ・ ご利用なさる状況による本ソフトウェアの簡単な利用法の説明



図. 本ソフトウェアに含まれるプログラムとその概要

※DXF は Autodesk, Inc.の商標または登録商標です

2. 製品の導入

本ソフトウェアを使用するには、お客様のコンピューター(以降コンピューターと表記します)にイ ンストールする必要がございます。インストールは以下の手順で行います。

製品のインストールがよく分からない、難しいとお感じであれば、有料の導入支援サービスもいた しますのでご利用ください(経費を実費でいただきます)。



図. 製品の試用と本登録手続きの概要

2-1. 動作環境

本ソフトウェアを使用するには、以下の環境が必要です。

	最低環境	推奨環境	
オペレーティング	Microsoft Windows10 Home	Microsoft Windows10 Home	
システム(OS)	Microsoft Windows10 Pro	Microsoft Windows10 Pro	
	Microsoft Windows8.1	上記最新バージョン	
	Microsoft Windows8.1 Pro	(各 32 ビット版、64 ビット版)	
	(各 32 ビット版、64 ビット版)		
プロセッサー(CPU)	1GHz 以上の Intel Pentium プロセ	Intel Core i3 以上のプロセッサー	
	ッサーないし互換プロセッサー	ないし互換プロセッサー	
メモリー(RAM)	2GB 以上	4GB 以上	
保存領域(ハードデ	1GB 以上		
ィスク等)の空き領			
域1			
画面解像度	1024×768ドット以上	1920×1080 以上	
その他	マウス・キーボード等の入力装置		
	PDF 作成ソフトウェア(PDF ファイル	の作成に必要です。Windows10 で	
	あれば標準機能の Print To PDF ~	で可能です。その他フリーソフトウェ	
	アを含めて印刷により PDF ファイル	レを出力できるソフトウェアで対応可	
	能です)		
	インターネット接続(調査位置の確認	2のみ必要です)	

表. 動作環境

Microsoft および Windows はアメリカ合衆国 Microsoft Corporation の登録商標または商標です Intel および Pentium、Core i3 は Intel Corporation の登録商標または商標です

2-2. 製品のダウンロード

本ソフトウェアの最新版を、以下の弊社ホームページよりダウンロードしてください。 https://kyoso-software.co.jp/ksboring/

¹ USB メモリーや NAS へのインストールはできません

2-3. 製品のインストール

お客様のコンピューターに保存されたインストールプログラムを実行します。インストールプログ ラムは、「KsBoringLogTools-setup_1.0-2019-06-02.exe」などとなっています。

2-3-1. 製品のインストール

インストールプログラムに従って、本ソフトウェアをお客様のコンピューターにインストールします。

(1)使用許諾契約

本ソフトウェアを使用するには、ソフトウェア使用許諾に同意する必要があります。

許諾条件を確認し、同意された場合には、「同意する」をクリックし、「次へ」をクリックしてください。

同意されない場合には、使用できませんので「キャンセル」をクリックしてインストールを終了してください。

거급する天平う音の回見 続行する前に以下の重要な情報をお読みください。	(
しし下の使用許諾契約書をお読みください。インストールを続行するにはこの契約書に同 する必要があります。	司意
ソフトウェア使用許諾	^
共創ソフトウェア株式会社以下、「当社」とします)は、お客様にダウンロードその他の 手段で提供し、インストールするソフトウェア(以下、「本ソフトウェア」とします)を使用す る権利を下記の条件で評議します。	
第1条(落作権) 本ソプトウェアに関する知的財産権は、当社に増属し又は第三者から正当なライセン スを得たものであり、本ソプトウェアは日本国及びその他の国の著作権法並びに関連 オネペキロドートーア保護士弁プロ・オオ	~
○同意する(A)	
●同意しない◎	

図.使用許諾の確認画面

(2) インストールするフォルダーの指定

お客様が本ソフトウェアをインストールするフォルダーを指定してください。 通常はそのままにしておくことをおすすめします。 良ければ「次へ」をクリックしてください。



図.インストール先の指定画面

(3) スタートメニューへのプログラムショートカットの設定

スタートメニューに本ソフトウェアのショートカットを登録する場所の名前を設定します。 通常はそのままにしておくことをおすすめします。 良ければ「次へ」をクリックしてください。

🕅 KSボーリング 柱状図作成支援ツール バージョン 1.0 セットアップ — 🗆 🗙
プログラムグループの指定 プログラムアイコンを作成する場所を指定してください。
2 セットアップはスタートメニューにプログラムのショートカットを作成します。
続けるには「次へ」をクリックしてください。違うディレクトリを選択するには「参照」をクリックして ください。
KSボーリング柱状図作成支援 参照(R)
< 戻る(1) 次へ(11) > キャンセル

図.プログラムショートカット名の指定画面

(4) デスクトップアイコンの設定

デスクトップにアイコンを置く場合にはチェックをしてください。 良ければ「次へ」をクリックしてください。

📝 KSボーリング 柱状図作成支援ツール バージョン 1.0 セットアップ	—	
追加タスクの資択 実行する追加タスクを選択してください。		
KSボーリング柱状図作成支援ツールインストール時に実行する追加 次へ」をクリックしてください。 アイコンを追加する: ☑ 〒スクトップ上にアイコンを作成する(<u>D</u>)	タスクを選	捩して、「
=7.72		العالي الم
	>	キャンセル

図.デスクトップアイコンの設定画面

(5)インストール内容の確認

インストールの内容が示されます。 良ければ「インストール」をクリックしてください。

<u>層</u> KSポーリング 柱状図作成支援ツール パージョン 1.0 セットアップ – 🗆 🗙
インストール準備完了 ご使用のコンピュータへ KSボーリング 柱状図作成支援ツール をインストールする準 備ができました。
インストールを続行するには「インストール」を、設定の確認や変更を行うには「戻る」をクリッ りしてください。 -
インストール先: C:¥Program Files (x86)¥KyosoSoftware¥BoringLogTools
プログラムグループ: KSボーリング柱状図作成支援
追加タスクー覧: アイコンを追加する: デスクトップ上(こアイコンを作成する(D)
<
< 戻る(回) インストール(1) キャンセル

図.インストール内容の確認画面

インストールが完了すると下の画面が表示されます。



図.インストール完了画面

2-3-2. Microsoft Visual C++ 2008 再頒布可能パッケージのインストール

続けて「Microsoft Visual C++ 2008 再頒布可能パッケージ」をインストールします。

CALS に定められた電子簡易柱状図 (P21) 作成には Microsoft 社の「Microsoft Visual C++ 2008 再頒布可能パッケージ」をインストールする必要がございます。

※Microsoft および Visual C++は Microsoft Corporationの登録商標または商標です

(1) インストールするか確認

「Microsoft Visual C++ 2008 再頒布可能パッケージ」をインストールするか、確認します。 他のソフトウェアのインストールで導入済みの場合もあります。その場合は「いいえ」をクリッ クして省略可能です。

インストールするには「はい」をクリックしてください。



図.インストールするか確認の画面

(2) Microsoft Visual C++ 2008 再頒布可能パッケージインストールの開始
 「次へ」をクリックしてください。

🙀 Microsoft Visual C++ 2008 Redistributable セットアップ		—		×
Microsoft Visual C++ 2008 Redistributable セットア ップへようこそ				
このウィザードに従ってインストールを進めます。)次へ(N)	<u>++</u> ;)tz14(0)	

図.インストール開始画面

(3) ライセンス条項の同意

マイクロソフト社のライセンス条項を確認します。

同意してインストールする場合には「同意する」にチェックを入れて、「インストール」をクリッ クしてください。

同意しない場合には「キャンセル」をクリックして終了してください。



図.ライセンス条項の同意の画面

インストールが完了すると下の画面が表示されます。「完了」をクリックして終了します。



図.インストール完了画面

2-4. 製品の試用をする

本製品のスタンダード版の機能を最大30日間お試しいただけます。

試用をするには、弊社ホームページから試用手続きを行い、製品登録手続きで試用の開始を 行ってください。

(1) プログラムの起動

本ソフトウェアでインストールされた任意のプログラムを起動してください。 製品情報が表示されます。

「試用開始」ボタンをクリックしてください。

製品情報	×
KSポーリング 柱状図作成支援ツール ボーリング管理プログラム KsBedMan version 1.0	
製品の登録情報	
お名前 : (未登録)	
会社名 : (未登録)	
製品の登録状況:製品登録が試用開始を進んでくたさい	
本製品の著作権は共創ソフトウェア株式会社が保有します。	
本製品は、SXFファイルの出力のためにオーブンCADフォーマット評議会の許諾を得て SXE共通コイブコールora 2000	C
5×1 天通 5×1 5 5 5 VEI.3. め 2×1 元 0 C V は 9 。	_
製品の登録・変更 試用開始 閉じる	
	-

図. 製品情報画面

(2) 試用コードの入力

メールでお知らせした6桁の試用コードを入力して「OK」ボタンをクリックしてください。



図. 試用コード入力画面

これで試用が開始されます。残りの試用期間は製品情報画面で確認できます。

製品情報	×
KSポーリング 柱状図作成支援ツール ポーリング管理プログラム KsBedMan version 1.0	
製品の登録情報	
お名前 : (未登録)	
会社名 : (未登録)	
割品コード → (牛ၢ動発) 製品の登録状況:試用期間は後29日です	
本製品の著作権は共創ソフトウェア株式会社が保有します。 本製品は、SXFファイルの出力のためにオーブンCADフォーマット評議会の許諾を得 SXF共通ライブラリVer.3.30を利用しています。	с
製品の登録・変更 閉じる	

図.残り試用期間の確認

2-5. 製品登録手続き

ご注文時にお知らせした、製品コードを用いて登録手続きをいたします。



図. 製品登録手続きの流れ

(1) プログラムの起動

本ソフトウェアでインストールされた任意のプログラムを起動してください。

製品情報が表示されます。

試用期間中は、メニューの「ヘルプ(H)」→「バージョン(V)」をクリックすると製品情報画面が 表示されます。

左下の「製品の登録・変更」ボタンをクリックしてください。

製品情報	×
KSボーリング 柱状図作成支援ツール ポーリング管理プログラム KsBedMan version 1.0	
製品の登録情報	
お名前 : (未登録)	
会社名 : (未登録)	
製品コード : (未登録)	
製品の登録状況:製品登録か試用開始を選んでください	
本製品の著作権は共創ソフトウェア株式会社が保有します。 本製品は、SXFファイルの出力のためにオープンCADフォーマット評議会の許諾を得	Iτ
製品の登録・変更 試用開始 閉じる	5

図. 製品情報画面

(2) 製品登録手続き

お客様の登録を行います。「製品登録手続き」をクリックしてください。



図. 製品登録手続き開始画面

(3)利用者情報の入力

お名前、会社名(会社名は任意です)、お知らせした製品コードを入力してください。 入力後、「次へ」をクリックしてください。

製品登録のお手続き	
製品登録のため以下を入力ください。	
お名前:	
共創 一郎	
会社名:	
共創ソフトウェア株式会社	
製品コード:	
BLT2-	
戻る 次へ 閉じる	

図.利用者情報の登録

(4) 登録メールの作成

製品の登録のために必要な情報が示されます。

この内容をメールで弊社製品登録専用アドレス(<u>regist@kyoso-software.co.jp</u>)へお送りください(「送信メールの作成」をクリックするとメールソフトウェアが立ち上がります)。

メールをご利用なさらない場合には、恐れ入りますが内容をコピーして印刷した上、弊社へ お送りください。その場合には手続きにいささかのお時間をいただきます。

郵送先 〒569-1123 大阪府高槻市芥川町2丁目14番20号 共創ソフトウェア株式会社

製品登録のお手続き	×
製品登録のため以下の枠内の情報を弊社へお送りください。 アクティベーションコードの通知はお送りいただいたメールの返信でいたします。 メールでお送りの場合は、以下のアドレスへお送りください。regist@kyoso-software.co.jp	
メール以外でお送りいただく場合には、恐れ入りますが郵送でお願いいたします。	
お客様の登録情報 あ名前 : 共創一郎 会社名 : 共創リフトウェア株式会社 製品コード : BLT2-1 登録コード :	^
	~
送信メールのTFDX 内谷のコヒー	
戻る 閉じる	5

図. 製品登録情報の確認画面

2-6. アクティベーション

メールの内容を確認した上で、弊社より折り返しアクティベーションコードを通知いたします。 何もご指定なければ、お送りいただいたメールアドレスへ返信いたします。



図. アクティベーションの流れ

(1) プログラムの起動

本ソフトウェアでインストールされた任意のプログラムを起動してください。

製品の登録状況が表示されます。

試用期間中は、メニューの「ヘルプ(H)」→「バージョン(V)」をクリックすると登録状況画面が 表示されます。

左下の「製品の登録・変更」ボタンをクリックしてください。

	KSボーリング 柱状図作成支援ツール ボーリング管理プログラム KsBedMan	
製品の登録情報 お名前 会社名 製品コード 製品の登録状	R : 共創一郎 : 共創ソフトウェア株式会社 : BLT2-NGA25796000000000000000000000000000000000000	
本製品の著作権は 本製品は、SXFフ SXF 1 通うイブラ 製品の登録・	共創ソフトウェア株式会社が保有します。 マイルの出力のためにオープンCADフォーマット評議会の計 ママロの功能で利用しています。 変更	f 諾を得て 閉じる

図. 製品情報画面

(2)アクティベーション手続き

お客様の登録を行います。「アクティベーションコードの設定」をクリックしてください。

製品登録のお手続き		×
本製品を継続して使用するには、以下 1.製品登録手続きを行って、登録コー 2.弊社より送られるアクティペーショ	の手続きが必要です。 ドを弊社へお送りください。 ンコードを設定してください。	
製品登録手続き	製品を登録する方は製品IDをご用意の上、 左の「製品登録手続き」をクリックしてください。	
アクティベーションコードの設定	アクティベーションコードをお持ちの方は、左の「ア フティベーションコードの設定」をクリックしてくだ さい。	
	閉じる	

図. 製品登録手続き開始画面

(3) アクティベーション

アクティベーションを行います。お知らせしたアクティベーションコードを入力してください。 コード中に改行がないようご注意願います。

間違いないか確認の上、「コードの設定」をクリックしてください。正しければ登録完了のメッセージが表示されます。

製品登録のお手続き	×
アクティベーションコードを下に入力し 「コードの設定」ボタンを押してください	
アクティベーションコード 	
貼り付け コードの設定	
戻る 閉じる	ć

図. アクティベーション入力画面

2-7. 製品登録の解除

何らかの理由で、お客様がコンピューターで本ソフトウェアの利用を解除なさる場合には、製品 登録の解除を行った後、アンインストールをお願いします。

なお、単純なアンインストールはもとより、解除により利用を停止したとしても、弊社はソフトウェ ア代金の返金には応じかねます。

解除した登録コードを現在のコンピューターないし、別のコンピューターで再利用したい場合に は弊社へご相談ください。弊社は状況を確認の上、登録コードの再利用について別途許諾を判 断いたします。

いかなる理由でも、解除手続きを正しく行わなければ、本ソフトウェアの利用許諾は登録したコン ピューターのみに適用されます。

(1) プログラムの起動

本ソフトウェアでインストールされた任意のプログラムを起動してください。

メニューの「ヘルプ(H)」→「バージョン(V)」をクリックすると製品情報画面が表示されます。 左下の「製品の登録・変更」ボタンをクリックしてください。

	KSボーリン ボーリング	ング 柱状図作成3 管理プログラム H version 1.0	を援ツール KsBedMan
 製品の登録情 お名前 会社名 製品コード 製品の登録 	服 : 共創 一郎 : 共創ソフト : BLT2-誘談 犬況: 登録済み	ウェア株式会社	
本製品の著作権(本製品は、SXF]	は共創ソフトウェフ ファイルの出力のた	ア株式会社が保有しま ためにオープンCADフ	す。 オーマット評議会の許諾を得
3AF共通ブイン。	/ yvel.3.30 配利用	目しています。	

図. 製品情報画面

(2) 製品登録解除手続き

登録解除を行います。「製品登録の解除」をクリックしてください。

製品登録のお手続き		×				
製品のアップグレードあるいは変更には、以下の手続きが必要です。 1.新しい製品登録手続きを行って、登録コードを弊社へお送りください。 2.弊社より送られるアクティベーションコードを設定してください。 製品の登録解除を行うには、以下の手続きが必要です。 1.製品登録の解除手続きを行って、解除コードを弊社へお送りください。 登録解除後に再度利用する場合、改めて製品登録手続きを行ってください。						
製品登録手続き	製品を登録する方は製品IDをご用意の上、 左の「製品登録手続き」をクリックしてください。					
アクティベーションコードをお持ちの方は、左の「ア クティベーションコードの設定 キロ						
製品登録の解除	は製品の登録を解除する場合は、 王の「製品登録の解除」をクリックして下さい。					
	閉じる					

図. 製品登録手続き開始画面

(3) 解除の確認

解除の意思を、おたずねします。

解除する場合にはチェックをして、「次へ」をクリックしてください。



図. 登録解除の意思確認画面

(4) 解除メールの作成

製品の登録解除のために必要な情報が示されます。

この内容をメールで弊社製品登録専用アドレス(<u>regist@kyoso-software.co.jp</u>)へお送りください(送信メールの作成をクリックするとメールソフトウェアが立ち上がります)。

メールをご利用なさらない場合には、恐れ入りますが内容をコピーして印刷した上、弊社へ お送りください。その場合には手続きにいささかのお時間をいただきます。

郵送先 〒569-1123 大阪府高槻市芥川町2丁目14番20号 共創ソフトウェア株式会社

製品登録のお手続き	×
製品登録解除のため以下の枠内の情報を弊社へお送りください。 登録解除完了の通知はお送りいただいたメールの返信でいたします。 メールでお送りの場合は、以下のアドレスへお送りください。regist@kyoso-software.co.jp	
メール以外でお送りいただく場合には、恐れ入りますが郵送でお願いいたします。	
の合物の所は同時 わ名前 : 会社名 : 共創ソフトウェア株式会社 製品コード: 製品コード: 解除コード:	~
送信メールの作成内容のコピー	
閉じる	

図. 製品登録解除情報の確認画面

(5) 製品解除手続き完了の通知

解除コードを確認し、弊社より解除手続き完了の通知をいたします。 これで解除手続きは完了です。

3. 各プログラムの紹介

下図に本ソフトウェアに含まれるプログラムを示します。



図. 本ソフトウェア中に含まれるプログラム

※DXF は Autodesk, Inc.の商標または登録商標です

3-1. 柱状図データ編集(KsBedEditor.exe)



ボーリング柱状図のデータを作成するプログラムです。

一般的な柱状図の作成が可能です。対応する規格の詳細は柱状図データ編集マニュアルを ご覧ください。

III 柱状図編集		1141) – D X
ファイル(F) 編集	i(E) 設定(S) ヘルプ(H)	
基本情報	日々の情報 層情報 標準貫入試験 原位置試験 試料採取・室内試験 二	
公開の有無	 ④ 公開する 〇 公開しない 	適用規格 <国交省>「地質・土質調査成果電子納品要領」H2810月版
備考	非公開の場合必須	住状四様式, 2017年19月1日年12
調査名	○○共同溝土質調査(その2)	発注機関名称 国土交通省00地方整備局00事務所00課
事業・工事名	一般国道〇〇号建設事業	テクリスコード 12345678
	調査目的 道路 🗸 調査対象 トンネル・地下空洞 🗸	調査業者情報
ボーリング名	B-2 連番 1 総数 10	会社名 株式会社00コンサルタンツ
10.05.9988	1999/05/01 岡 の 1999/05/20 岡 堤湾信報公会 1 力	電話番号 012-3455-6789
位置情報		地質調査技工会評審考 1
調査位置	○○県○○郡○○町字○○	現場代理人 △△△△ ✓ 地質調査技士登録番号
経緯	北緯 34 ° 59 ' 53.2000 " 東経 135 ° 49 ' 58.2000 "	□ 7鑑定者 ×××× v 地質調査技工登録番号
取得方法	地形図読み取り	ボーリング責任者 □□□□ ✓ 地質調査技士登録番号
	取得方法説明 1 000分の11地形図を0 1mm単位で詰み取り	地質情報管理士登録番号
	1/10/0//20	電子納品管理者 ◎◎◎◎◎ ~ 10000
設定の方向スリント目的を	1/10/9(#)5m)まで ジ 測想業 巨乔海秘来(JGD2011) ジ	標準貫入試驗情報
ローカル座標	座標定義 座標	ハンマー落下方法 V値記録用具 V
	X 3000.000	握削機械情報
	DL. 50.00	試錐機名称 0000 能力 150 m級
削孔情報		掘削方法 ケーシング方式 ~
孔口標高	0.23 高さ 高さ[任意] 基準標高 基準標高	エンジン名称 🛆 🛆 能力 000 単位 エンジン出力単位 🗸
_	基準記号 記号[任意]	ポンプ名称 ×××
総削孔長	15.00 前孔長は振進情報から計算	
削孔角度	15.00 削孔方向 10.00 地盤勾配 15.00	種類 海上銅製櫓 🗸

図. 編集画面

3-2. ボーリング管理(KsBedMan.exe)

同じ業務の柱状図を一括管理するためのプログラムです。



詳細はボーリング管理マニュアルをご覧ください。

件名などといった共通項目を一括で入力し、各柱状図へ反映することが可能です。

また、調査箇所の緯度経度・XY・標高など、外部委託で得られるデータの設定をできます。

緯度経度と平面直角座標の相互変換、調査位置の確認ができます。

国土交通省及び農林水産省の CALS 規格に対応した BORING フォルダーの作成と、チェックシ ステム用のダミーデータの作成が可能です。

リアイル(F) 適用規構 業務名 調査名) 編画(E) 機能(Z) 設 3 (国交省>「地質・土質 称情報 5 (〇〇道路△路面緒	E(S) ヘルフ(H) 調査成果電子納品要領」H28 持調査業務	10月版 ~	 公開 ●公開する ○公開しない 発注機関/群 発注機関名 	備 非 配 称 〇〇地方覧	考 公開の場合必須 館場の〇〇遺録事務所		
事業・ 基本情報	工事名 〇〇道路 整備事業	\$ 削孔情報 調査業者情報	機械情報		テクリスコー	-K 12345678		
連番	ボーリング名	調査目的	調査対象	調査	期間 総フロ	柱状図様式		
1	B-1	道路	舗装路盤(道路路盤·空港路盤)	2019/05/01	2019/05/08	土質ボーリング(標準貫入試験)-JACIC H2706版		
2	B-2	道路	舗装路盤(道路路盤·空港路盤)	2019/05/03	2019/05/10	土質ボーリング(標準貫入試験)-JACIC H2706版		
3	B-3	道路	舗装路盤(道路路盤·空港路盤)	2019/05/09	2019/05/14	土質ボーリング(標準貫入試験)-JACIC H2706版		

図. 情報管理画面

3-3. 柱状図表示・印刷(KsLogViewer.exe)

ボーリング柱状図を表示・印刷するプログラムです。



一般的な柱状図を表示可能です。対応する規格の詳細は柱状図表示・印刷マニュアルをご覧 ください。

複数の柱状図データをまとめて読み込み設定することが可能です。

表示された柱状図をコピーし、他のソフトウェアに貼り付けすることが可能です。

凡例の表示が可能です。

室内土質試験などについては、試験名の短縮表示やグルーピング(物理試験をまとめて物理 と名付けるなど)による表示が可能です。

その他、表示項目の選択・幅の調整機能などがあります。

設定は保存することが可能です。



図. 表示画面

3-4. 電子簡略柱状図(KsSBorLogEditor.exe)

電子簡略柱状図を出力するプログラムです。 詳細は電子簡略柱状図マニュアルをご覧ください。 表示された電子簡略柱状図をコピーし、他のソフトウェアに貼り付けすることが可能です。 複数の柱状図データをまとめて読み込み設定が可能です。 旗だしの左右を個別に設定が可能です。 電子簡略柱状図は DXF ないし SXF (p21, sfc)で出力が可能です。 その他、表示項目の選択・幅の調整機能などがあります。 設定は保存することが可能です。



図.設定・プレビュー画面

3-5. コア写真管理(KsCoreMan.exe)



撮影したコア写真を整理して、コア箱を切り出しし連結画像に用いたり、データを保存したりで きます。

整理した写真を一連の名前で出力することも可能です。

保存したデータを用いて、ボーリング管理プログラムで CALS データとしてコア写真を出力することや、柱状図表示・印刷プログラムで柱状図にコア写真を表示させることが可能です。

■ KS□ア写真管理 - <新規作成>		- 0	×
ファイル(E) ヘルプ(H) コア写真の仕分け 写真整理 連結写真の作り	成 写真情報		
0.00 ~ 5.00m 5.00 ~ 10.00m		採用 別(活利用 不採用 切り出し ブ数 5 1m毎6 切り出し 神幡 20 5 下回 5 日 20 5 日 20 5 1 5 20 5 5 5 20 5 5 5	≑右
不接用在一括制除			

図. コア箱の設定画面



図. コア箱連結写真の設定

3-6. 水位観測図(KsGWLogEditor.exe)

水位観測図を出力ないし、地すべり水位観測図を出力するプログラムです。 詳細は水位観測図マニュアルをご覧ください。 表示された図をコピーし、他のソフトウェアに貼り付けすることが可能です。 複数の柱状図データをまとめて読み込み設定が可能です。 電子簡略柱状図は DXF ないし SXF (p21, sfc)で出力が可能です。 設定は保存することが可能です。



3-7. 数量計算ツール(KsBedAccumulater.exe)

ボーリング数量を計算するプログラムです。

本プログラムは Basic 版では利用できません。

詳細は数量計算ツールをご覧ください。

柱状図データを読み込み、別孔の設定と積算区分の設定を行うことで、ボーリング毎の積算根 拠となる計算図と数量表、業務の総括数量表を作成することが可能です。

[D:¥Proj	ect¥BoringLo	ogTool¥サンプル¥テスト(50m	オーバー).kbalset]						-	•
ファイル(E) 編集(E) 出ナ)(0) 設定(5) ヘルプ(H)								
B-2 B-2										
調査箇所 00県00	1800町字(0	ポーリングの再読み込み		本	7L		別孔1		別孔2
掘削角度 15	모네 포태하	1.2.42	建筑区分 学校 いい		0	●オールコア (דבעו 🖸	○オールコア ◉,	ンコア	<u></u> () 카
Man 17-132 13	AE-96 1 XEAC	×E-₩ ₹	10(99422.7)			下端深度	孔径	下端深度 孔1	ž	T 1
		層区分				7.40	116	50.50 68		4
地層名	下端深度	土質区分1	土質区分2	区分1比率		30.15	86			
埋土(砂)	1.80	砂・砂質土		100		61.50	66			
シルト質砂	3.00	砂・砂質土		100						
シルト混じり砂	7.40	砂・砂質土		100						
シルト質砂	10.60	砂・砂質土		100						
シルト	22.45	粘土・シルト		100						
粘性土	23.70	粘土・シルト		100				孔底深度 50.50m	孔の削除	孔底深
シルト混じり砂	24.55	砂・砂質土		100	孔	底深度 61.50m		<		>
砂・シルト互層	27.95	砂・砂質土	粘土・シルト	60	槽泪	(目) 試験 西	(立躍試解名 十	หลางช		
砂岩	30.15	軟岩		100	DK-	-,				
安山岩	40.15	中硬岩		100		上端深度	下端深度	地磨名(分布cm)	土質区分	<u>, </u>
凝灰質礫岩	52.30	軟岩		100		1.15	1.60	理工(69)	砂・砂道:	I.
安山岩	61.50	軟岩		100		2.15	2.55	シルト賞砂	砂・砂道:	±.
						3.15	3.45	シルト混しり砂	砂 · 砂貫:	±
						4.10	4.40	シルト混しり砂	砂・砂道:	I.
						0.10	0.01	シルト混しり砂	の・切目	I .
						5.15	0.49	ンル下派しり99 1706(40,0mm)、ショルトを	でジ・601日。	L L
						0.15	0.45	10少(40+0Cm),ソルド) トロー級[705	び むり 間 :	L
						0.15	0.45	シルで見切	の の目:	1
						8.10	8-40 10.4F	シルト員切	い 切目:	+
						10.15	10.45	シルト質砂	109 101日)	L
						11.10	11.40	1410	*ロエ・シル	/ r
青寶区分の下端深度です										

図. 設定画面



図. ボーリング数量計算図面

E.

3-8. 共有管理(KsShareMan.exe)

発注機関などの設定を共有フォルダーで管理するためのプログラムです。 詳細は共有管理マニュアルをご覧ください。

共有フォルダーの設定と解除、発注機関・受注者・技術者・ボーリング機材の設定についてデ ータ移動や編集ができます。

共有データの管理	×
	共有データの編集
共有フォルダーの設定	発注機関
データの移動	会社名
	技術者
閉じる	ボーリング機材

図. 共有データの管理画面

3-9. 柱状図ハッチエディター(KsHachEditor.exe)

地質・土質ハッチの編集を行うプログラムです。

本プログラムは Basic 版では利用できません。

r

詳細は柱状図ハッチエディターマニュアルをご覧ください。

柱状図、電子簡略柱状図、積算の計算図に用いる地質・土質ハッチを編集することができます。

🔲 ハッチの編集							
編集(E)							
	□他のハッチ 参 パターンの基準 X:0 Y:0	を利用 照コード ○	00000000 の移動量(△×) の移動量(△×) スライド量(S):	参照 600 252 0	説明 パターン者 バターン者 だ上が 移動量(パ バの各 段替えの)	5準点(XY) ンの基準点で 原点(0,0)で ムXムY) ンを編り返す プ向へのバタ スライド量(S)	- 設定します Xは若へも、 Xは下へ+です *場合、 3~ン移動量を設定します
• • • • • • •	איקר	パラメーター			Y方向/ X方向/	への繰り返し へいくつずら	でパターンを すか時定します
名称: [2][]=2] 文字記号:	move line move line move	137,91 178,132 332,64 372,101 513,120			אכידם move line circle	パラメーター ×y ×y ×yr.[true]	解現 線の開始点(x,y)を設定します 線の点(x,y)を設定します (x,y)を中心とした半径rの円を描きます trueを設定すると塗りつぶしします
 コードの種別 ◎ 岩石 ○ 岩石 	line move	568,91 268,182 211,024			triangle	x,y,w,h.[true]	左端(x,y)を幅w,高さhの三角を描きます h(+)で上に凸、h(-)で下に凸になります trueを設定すると塗りつぶしします
コード: 199100002	move	388,212			rectangle	x,y,w,h[true]	左上(x,y)で幅w,高さhの四角を描きます trueを設定すると塗りつぶしします
	line move	447,181 61,253			vline	d	給直線を描画します。dは線の上下余白 基準点はX、移動量は△Xのみ有効です
日月末 2218 年75 世の設定	line	117,222			hline	d	水平線を描画します。dは線の左右余白 基準点はY、移動量は△Yのみ有効です
	ハッチパターン1 ハッチパターン	ハッチパターン の追加	2 表示しているパ	ターンを削除	sline	dx,dy,s	料線を描画します dxは左右、dyは上下の余白です 差準点はX、移動量は∆Xのみ有効です =はY方向に100いったときのXの変化量
設定キャンセル							

図. ハッチ編集画面

4. 共通操作

本ソフトウェアは、一般的なワークシート編集アプリケーションで期待される動作に概ね準拠した 操作を行うことができます。

4-1. シート上の操作

(1) セルの状態

シートで何かをする場合、セルを選択します。その後入力をすることでセルを編集できます。 また、範囲選択をしてデータのコピーや貼り付け、削除などを行えます。

セルは選択状態と編集状態の二種類の状態があります。

1) 選択状態

セルが選択されていますが編集状態ではありません。

範囲選択を行うにはこの状態である必要があります。

編集状態から選択状態にするには、キーボードの「ESC」キーを押すか、現在編集中のセル以外のセルをクリックします。

1700 セルが選択されているが、編集状態ではない

図.セルの選択状態

2) 編集状態

セルの内容を編集できます。グレー系のセルは編集禁止の場合があります。

編集状態にするには、キーボードの「F2」キーを押すか、セルの上でダブルクリックをしま す。また、直接文字を入力することでも編集状態に変わりますが、下記の注意がありますの でご注意ください。

編集状態では複数セルの範囲選択ができません。

15.00

1900 セルが選択されて、編集状態



1000 セルが選択されて、編集状態でかつ文字列がすべて選択されている

図.セルの編集状態

※日本語の入力をする場合、セルが編集状態にない場合は、入力した文字がセルではなくモニターの左上に表示されます。この場合、文字が正しく入力できません。

3) ドロップダウンセル

ドロップダウンセルとは、決まった項目を選択するセルです。色調などでは任意の文字列を入力できます。

ドロップダウンセルを選択するとセルの右側に項目選択用のタブが表示され、クリックすると選択項目の表示非表示が切り替えられます。

データの選択はマウスで項目をクリックするほか、入力でも可能です。

下端深度2	工学的分類	色調		風化	変質	
1.05		褐、	~	w5		
1.60		赤褐				
1.80	-	黄褐色				
2.00						
2.20						
3.00	ML	黒灰				

図.ドロップダウンセル(項目非表示状態)

下端深度2	工学的分類	色調		風化	変質	
1.05		黄褐、、	~	w5		
1.60		暗褐	^	1		
1.80	-	黄褐赤褐				
2.00		褐灰				
2.20		淡灰				
3.00	ML	画次	Ŧ			

図.ドロップダウンセル(項目表示状態)

(2) セルを選択する・セルを移動する。

セルを選択するにはいくつかの方法があります。

- ・ マウスで直接セルをクリックする(ダブルクリックすると編集状態になります)。
- ・ シート上で選択状態であれば、カーソルキー「↑↓ ←→」をクリックして目的のセルを選 択する。
- シート上で選択状態であれば、Tab キーないし Enter キーで移動する。
 Tab キーは押す毎に右のセルへ移動します。右端で押した場合には一つ下の段で左端の入力可能なセルに移動します。Shift キーを押しながら Tab キーを押すと、逆に左へ移動し、左端では一つ上の右端へ移動します。
 Enter キーは特殊な動きをします。設定で指定された以下の動作をします。
 - ▶ 何もしない

Enter キーを押しても何も起こりません。

- Tab と同じ動作
 Tab キーと同じ動作をします。
- 一つ下へ移動
 Enter キーを押すと1段下のセルに移動します。Shift キーを押しながら Enter キーを押すと1段上のセルに移動します。
- ➤ Tabを開始したセルの下へ移動 Tab キーを押してセルを右に移動している場合、その段で最初に Tab キーを押し たセルの1段下のセルに移動します。

※Enter キーの動作が設定されていないシートもあります。

(3) セルのコピー・貼り付け

セルを選択した状態で、メニューの編集から、切り取り・コピー・貼り付けなどを行えます。 コピーしたデータは、クリップボード機能で他のアプリケーションでもお使いできます。 セルを右クリックしてポップアップメニューから同じ動作を行うことができます。

掘進情報						
年月日	削孔深度		ケーシング下端深度			
2001/05/01	3.00			3.00		
2001/05/08	6.00			6.00		
2001/05/09		10.	00		10.00	
2001/05/10	15.00			15.00		
2001/05/11		17	nn		17.00	
2001/05/15		5	切	り取り(T)	Ctrl+X	
2001/05/16		 」 」 別		²−(C)	Ctrl+C	
2001/05/17				り付け(P)	Ctrl+V	
2001/05/19		元(に戻す(U)	Ctrl+Z	

図. セルのポップアップメニュー

※セルの貼り付けではデータの確認をしていません。このため、そのセルに入れるべきではない データも貼り付けできます。貼り付けしたデータが妥当なものであるかは、お客様がご確認ください。

(4)行を選択する

シート上で行選択をします。なお、行選択のできないシートもあります。

1) シートの左端にマウスポインターを移動させる

マウスポインターを動かしてシートの端の列上にします。下図のようにポインターが指さし状態になります。

この状態で左クリックしてください。

			掘進情報	ł
		年月日	削孔深度	ケーシング下端深度
		2001/05/01	3.00	3.00
		2001/05/08	6.00	6.00
	لے ا	2001/05/09	10.00	10.00
		2001/05/10	15.00	15.00
(2001/05/11	17.00	17.00
		2001/05/15	18.00	18.00
		2001/05/16	21.00	21.00
		2001/05/17	24.00	24.00
		2001/05/19	27.00	27.00

図.左端にマウスを持ってきた状態

2) 行選択をする

カーソルが→矢印に変わります。

この状態でマウスの左ボタンを押し続けて上下にマウスを移動させると複数行を選択できます。

	ł	
年月日	削孔深度	ケーシング下端深度
2001/05/01	3.00	3.00
2001/05/08	6.00	6.00
2001/05/09	10.00	10.00
2001/05/10	15.00	15.00
2001/05/11	17.00	17.00
2001/05/15	18.00	18.00
2001/05/16	21.00	21.00
2001/05/17	24.00	24.00
2001/05/19	27.00	27.00

図. 行選択モード

掘進情報						
年月日	削孔深度	ケーシング下端深度				
2001/05/01	3.00	3.00				
2001/05/08	6.00	6.00				
2001/05/09	10.00	10.00				
2001/05/10	15.00	15.00				
2001/05/11	17.00	17.00				
2001/05/15	18.00	18.00				
2001/05/16	21.00	21.00				
2001/05/17	24.00	24.00				
2001/05/19	27.00	27.00				

図.行の選択

3)行いたい作業を選ぶ

マウスを左クリックして、ポップアップメニューから、「行の挿入」、「行の削除」を選択します。

		掘進情報	ł	
	年月日	削孔深度	ケーシング下端深度	
	2001/05/01	3.00	3.00	
	2001/05/08	6.00	6.00	
	2001/05/09	10.00	10.00	
	2001/05/10	15.00	15.00	
	2001/05/11	17.00	17.00	
	2001/05/15	18.00	18.00	
	2001/05/16	91.00	21.00	
h	3 行の挿入(I)	4.00	24.00	
Π.,	行の削除(D)	7.00	27.00	

図.行選択時のメニュー

(5)範囲選択する

セルの選択状態で、マウスの左ボタンを押し続けながら動かすことで範囲選択をできます。 範囲選択をして、コピー、貼り付けなどもできます。

掘進情報						
年月日	削孔	深度	ケーシ	ング下端深度		
2001/05/01		3.00	3.0			
2001/05/08	6.00 10.00 15.00		6.0			
2001/05/09				10.00		
2001/05/10				15.00		
2001/05/11	3	↓ 切り取り コピー(C 貼り付け) 元に戻る		Ctrl+X		
2001/05/15				Ctrl+C		
2001/05/16				Ctrl+V		
2001/05/17	-			Ctrl+7		
2001/05/19				27.00		

図.範囲選択をしてポップアップメニューを呼び出した例

※セルの貼り付けではデータの確認をしていません。このため、そのセルに入れるべきではない データも貼り付けできます。貼り付けしたデータが妥当なものであるかは、お客様がご確認ください。

5-1

5. こんな時には

(1)新しいボーリング調査を始める

データ保存用に適当なフォルダーを作成するか、1箇所に決めることをおすすめします。 調査を開始して、ボーリングに関するデータの作成をするには2つの方法があります。どち らでもやりやすい方法でかまいません。

1) すぐにボーリング柱状図の編集を始める

柱状図データ編集(KsBedEditor.exe)を起動して、新規作成を選び柱状図データを編集します。

CALS 出力など業務に関わるデータの編集は、後日ボーリング管理(KsBedMan. exe)で編 集データを登録することで行います。

2) ボーリング管理で管理データを作成する

ボーリング管理(KsBedMan. exe)を起動して、新規を選択し、業務情報を編集した後、柱 状図データの新規作成で柱状図データを作成します。

この場合、共通項目はボーリング管理の情報を元に自動で付加されます。

ボーリング本数や連番は、ボーリング管理の機能で都度割り付け可能です。

(2)ボーリングを追加する

ボーリング管理(KsBedMan. exe)を起動し、メニューの「ファイル(F)」→「ボーリングファイル リストの編集(L)」をクリックします。

ファイルの設定ダイアログが表示されますので、ファイルがある場合は「孔の追加」を選択して、ファイルを追加します。ない場合は「孔の新規作成」を選択して、新しい孔名とファイル名 を入力して追加します。

(3)現場で日々の整理をする

柱状図データ編集(KsBedEditor.exe)を起動して、日々のデータを入力します。

土質ボーリングの場合、表示タブを「日々の情報」、「層情報」、「標準貫入試験」に絞ると入 力が楽です。

岩盤ボーリングの場合、表示タブを「日々の情報」、「層情報」、「削孔・送水情報」、「最大コ ア長・RQD」に絞ると入力が楽です。

地すべりボーリングの場合、表示タブを「日々の情報」、「層情報」、「削孔・送水情報」、「孔 径・孔壁保護」に絞ると入力が楽です。

このほか、試料採取や原位置試験を行った場合は必要に応じて対応タブを表示させて入力します。







(4) コア写真を整理する

撮影したコア写真の取捨選択を行い、深度毎に整理するには、コア写真整理 (KsCoreMan. exe)で行います。

整理データは 1 つのファイルでまとめられ、柱状図表示・印刷(KsLogViewer.exe)で柱状 図に写真を差し込んだり、ボーリング管理(KsBedMan. exe)で CALS データとして出力すること が可能です。

整理して名前を付け直した写真をフォルダーに保存することもできます。

(5) コア写真を連結して印刷

コア写真整理(KsCoreMan. exe)でコア写真を整理します。 その後、コア箱の範囲を設定すれば、そのまま連結写真を印刷できます。 連結写真には、コアの両側に深度を表示させることも可能です。

(6) コア観察をする

あらかじめ、柱状図表示・印刷(KsLogViewer.exe)で、空白柱状図を作成し、深度指定を 行って、必要な深度まで印字した空の柱状図を印刷して書き込みすることをおすすめします。

観察後は、柱状図データ編集(KsBedEditor.exe)を起動して入力します。

表示設定で、地質・十質・地すべりで一般的に使う項目だけ表示させる機能があります。

(7) 柱状図の整理を行う

ボーリング管理(KsBedMan. exe)を起動して、該当業務のボーリング管理ファイルを読み込 みます。

1) ボーリング情報の確認

位置情報や技術者情報について、確認します。

なお、管理データは最後に取り込んだ柱状図データを元に作成されているので、メニュ ーの「ファイル(F)」→「ボーリングファイルリストの編集(L)」をクリックし、ファイルの設定ダイ アログで、その後ファイルの更新があるか確認してください。

更新がある場合は、取り込みを行って確認作業を行います。

2) ボーリング総数・連番の設定

メニューの「ファイル(F) |→「ボーリングファイルリストの編集(L)」をクリックし、ファイルの 設定ダイアログを開きます。

連番を設定し、総本数を設定します。

(8) 柱状図を印刷する

柱状図表示・印刷(KsLogViewer. exe)を起動して、設定ファイルを読み込むか、新規作成











でボーリング柱状図データファイルを指定します。

表示設定を変更し、メニューの「ファイル(F)」→「印刷(P)」で印刷します。

(9)N値の整理をする

柱状図データ編集(KsBedEditor.exe)を起動して、柱状図データを読み込みします。

1)100mm(10cm)単位で入力

100mm(10cm)単位で打撃回数を入力する場合は、「標準貫入試験」タブを表示させて、 入力します。

2) 打撃毎あるいは細かく入力

打撃毎の貫入領を入力したい場合、あるいはある程度細かく入力したい場合は、「標準 貫入試験」タブの「詳細打撃回数入力」をクリックして、「詳細打撃回数入力」ダイアログで入 力します。

(10) 最大コア長・RQD の 整理をする

柱状図データ編集(KsBedEditor.exe)を起動して、柱状図データを読み込みします。 1回の掘進長の区間の連続したコア長を入力します。 最大コア長とRQD はそこから自動で計算されます。

(11) ボーリングの数量をまとめる

各孔の掘進情報、層情報を柱状図データ編集(KsBedEditor.exe)で編集して完成させた 後、数量積算ツール(KsBedAccumulater.exe)を起動します。

その後の操作については数量積算ツールマニュアルをご覧ください。

(12) CALS データを作成する

ボーリング管理(KsBedMan. exe)を起動します。ボーリング管理ファイルを読み込みます。 メニューの「機能(Z)」→「CALS(C)」をクリックして、CALS 設定ダイアログを表示させます。 電子柱状図ファイル及び電子簡略柱状図の関連付けを行い、出力します。









5-4

(13) 測量成果を柱状図に取り込む

ボーリング管理(KsBedMan. exe)を起動します。ボーリング管理ファイルを読み込みます。 位置情報タブをクリックして測量成果を入力します。

位置情報が平面直角座標系の場合、メニューの「機能(Z)」→「座標変換(Z)」をクリックして、 座標変換ダイアログを表示させます。平面直角座標系の系番号を選択し XY に座標を入力す るか貼り付けして、「緯度経度←XY 座標」ボタンをクリックします。

変換された緯度経度をコピーして、位置情報タブの緯度経度に貼り付けしてください。

(14) ボーリング位置を確認する

ボーリング位置の確認にはインターネット接続が必要です。

ボーリング管理(KsBedMan. exe)を起動します。ボーリング管理ファイルを読み込みます。

メニューの「機能(Z)」→「調査位置の確認(Y)」をクリックして、確認ダイアログを表示させま す。

(15) CAD に貼り付けする電子簡略柱状図を用意する

電子簡略柱状図(KsSBorLogEditor.exe)を起動します。設定ファイルを読み込むか新規 作成で柱状図データを選択します。

設定を行い、メニューの「ファイル(F) |→「エクスポート(DXF) |→「まとめて一つの DXF ファイ ルに変換(Z) |をクリックします。

(16)報告書に電子簡略柱状図を貼り付ける

電子簡略柱状図(KsSBorLogEditor.exe)を起動します。設定ファイルを読み込むか新規 作成で柱状図データを選択します。

設定を行い、コピーするか、メニューの「編集・表示(E)」→「簡略柱状図をコピー(C)」をクリ ックします。

報告書に貼り付けます。

(17)N値をエクセルなどに入力する

柱状図データ編集(KsBedEditor.exe)を起動して、柱状図データを読み込みします。 「標準貫入試験」タブを表示させて、N値を範囲選択します。 メニューの「編集(E) |→「コピー(C) |をクリックしてコピーします。 エクセルなどで、貼り付けします。







(18)N値を出力する

柱状図データ編集(KsBedEditor.exe)を起動して、柱状図データを読み込みします。 メニューの「機能(Z)」→「標準貫入試験データエクスポート(E)」をクリックして出力します。

(19) 打撃貫入量曲線図を印刷する

围

柱状図データ編集(KsBedEditor.exe)を起動して、柱状図データを読み込みします。 メニューの「機能(Z)」→「打撃貫入量曲線図の印刷(S)」をクリックして印刷します。